ユーザメモと wiki を連携するシステムの開発

関西学院大学理工学部 情報科学科 西谷研究室 3550 江本沙紀

開発の背景

近年、ナレッジマネジメントが企業経営の重要な要素と言 われ、導入を進める企業が増えている、ネレッジマネジメン トとは,個人の持つ知識や情報を組織全体で共有し,有効に 活用することで実績を上げようという経営手法である.

ナレッジマネジメントでは、グループ開発において共有す る知識は暗黙知と形式知に分けられる[1]. 暗黙知は主に口伝 によって一対一でつたえられたり,あるいは体で覚えるとい うのが一般的である.しかし,定着するまでの間は一般的に メモという形で個人的な知識として扱われるのが普通である. 一方,形式知は図書館や web 上に誰もが読める形で保管,提 供される.

西谷研究室では,各所属学生の暗黙知を形式化するために, my_help という gem を開発し,自分のためのメモをのこして 活用している. 本研究では, 西谷研究室内でのナレッジマネ ジメントを推進するため, my_help から wiki clone の hiki へ 自動変換するシステムの開発と, my_help をよりよいソフト にするために FrontPage の設計をする.

開発の方法

想定しているこのシステムの使用法は以下の通りである.

- 1. my_help を利用してメモを作成する.
- 2. 研究室内の各学生のメモを 1 つの場所に集めるために サーバに送る.
- 3. サーバに集めたメモを hiki 形式に変換して, wiki で表示
- 4. 研究室に所属するメンバーが全員のメモを閲覧し情報を 共有する.

このような動作をすることのできるコマンドの開発を行う.

3 結果

コマンドを2つに分けて開発を行った.

● TARGET -push:作成したメモ (TARGET) をサーバ に送る.

date_dir = File.join(ENV['HOME'],'.my_help') FileUtils.cd(data_dir)

system "rm -rf ~/.my_help/*.yml~"

system "scp -r ~/.my_help saki@nishitani0:~" system "ssh saki@nishitani0 ls ~/.my_help"

● my_help -hiki: メモを hiki の形式に変換し wiki で表示

system "emacs_help --to_hiki > ~/Sites/hiki-1.0/data/ system "my_todo --to_hiki > ~/Sites/hiki-1.0/data/tex system "ssh_help --to_hiki > ~/Sites/hiki-1.0/data/te system "open -a safari 'http://localhost/~saki/hiki-1

4 FrontPage の設計

知識共有のため,以下のような機能の実装を設計した.

- メモの内容による分類
- 研究室内のメンバーの help へのリンク
- 閲覧回数が上位の help
- 更新の新しい help へのリンク
- pdf 形式に変換し印刷
- 分類内で閲覧回数の多い help へのリンク



FrontPage

(例)emacs_help

5 今後の課題

西谷研究室には内部サイトがあり,研究室内でしようする システムのマニュアル等が公開されている.本研究で表示を 可能にした FrontPage を内部サイトに表示するようにすれ ば,さらに研究室内のナレッジマネジメントに役立つのでは ないかと考えている.今後,作成したFrontPageの設計に従 い開発を続けてほしい.

6 参考文献

[1] ニック・ミルトン 、「プロジェクト・ナレッジ・マネジ メント」, (生産性出版, 東京都渋谷区渋谷 3-1-1, 2009年), p.4-5